

財務ハイライト

Financial Highlight



取締役 兼 専務執行役員 CFO 竹中昌之

売上高



営業利益／営業利益率



設備投資額



ROE



1株当たりの配当金



* 普通配当 16円、記念配当 3円 (創業70周年記念配当)

CFO メッセージ

目指してきた「高収益体質への変革」は 着実に進展しています。

2021年度の振り返り

コロナ禍の影響で業績目標は未達も 「稼ぐ力」は着実に向上

当社は、2021年から新中期経営計画「Vプラン23」をスタートし、最大の課題である「収益力」をテーマに取り組みを進めました。前中計「Vプラン20」後半を「構造改革フェーズ」とし、国内事業では住設システム事業の撤退と希望退職の実施による構造改革、海外事業では主力の中国エリアで固定費削減を敢行し、経営基盤の強化に取り組みました。

「Vプラン23」は、「収益安定化フェーズ」と位置付け、初年度となる昨年(2021年12月期)は、高付加価値商品の拡販による商品ミックスの改善と原価低減による限界利益の向上、また、効率化による固定費削減を国内外で推進した事で、上半期(1～6月累計)の営業利益は過去最高額(50億円)を達成できました。しかしながら、下半期の後半以降は東南アジアでのコロナ禍の影響拡大による部品サプライヤーの生産遅延や世界的なハーネス不足等により、国内事業において主力製品の大幅な納期遅延状況に陥りました。これによって売上・利益が急減し、通期業績は減収減益に終わりました。

最終的な業績は、計画未達となりましたが、当社が目指す「高収益体質への変革」に向けた取り組みは着実に進展しています。納期遅延による収益性低下はあくまで一過性の事態として、部品調達方法の見直しや製品設計変更など、早期かつ恒久的な対策を打つことでサプライチェーンの再構築を図り、「Vプラン23」の業績目標達成をあらためて推進していきます。

今後の財務方針

資本効率の向上につながる キャッシュアロケーションを推進

財務的な課題は収益性向上による資本の効率化を図ることであり、ROE(自己資本利益率)を重視しています。2020年度は、構造改革による特別損失が発生したためにROEはマイナス値となりましたが、Vプラン23では5%の恒常的な達成を目標に掲げました。

2021年度は、先述の納期遅延による収益急減がありながらも「ROE5%」を達成できましたが、この数字に満足しているわけ

ではありません。国内事業の高収益体質への進化と海外事業における持続的成長を推進する事で着実に利益を稼ぎ出し、資本効率のさらなる向上を図ります。将来的には、資本コストを上回る効率性に引き上げたいと考えています。

CFOの重要使命は、バランスシートの組み換えと持続的成長や企業価値向上に資する確かなキャッシュアロケーションにあると認識しています。

2021年においても、利活用度の低い不動産や事業との関係性が低い政策保有株に優先順位をつけて適宜売却を進めました。

一方、新たな成長への取り組みとして、新技術の獲得・新ビジネスモデルの構築に積極的な投資も行っていきます。具体的には、先行技術を製品実装する為に2021年に締結した神戸大学との包括連携協定に10億円規模の投資を計画しています。また、カーボンニュートラル社会の実現に向け、2030年までに700億円の投資を行います。海外事業では、新規エリアの獲得を目的に、東南アジアで成長の著しいベトナムの「kangaroo社」に52億円を投資し、株式44%を取得しました。今後は、お客さまとの「つながり」を重視する新たな販売モデルの構築に向け、デジタルトランスフォーメーション(DX)関連の投資も強化していきます。

事業環境は先行き不透明な状況が続いていますが、当社の財務基盤は安定しており、想定されるさまざまなリスクに対応できる十分な手元資金を保有していると認識しています。財務規律は、健全性の観点から「格付けA格以上」、「自己資本比率50%以上」とし、M&Aなども視野に入れた各事業の成長戦略実現に向け、新たな外部資金が必要となる場合は機動的な資金調達を含め資本生産性の向上につなげていく方針です。

株主還元の方針

積極的な利益還元と中長期的な企業価値向上に努めていきます

持続的な成長につながる投資、リスク耐性を高める資金の内部留保、株主への還元をバランスよく実行する考えであり、株主還元は経営上の重要課題と位置付けています。

従来は、継続的かつ安定的な配当を基本としてきましたが、「Vプラン23」の3年間は業績連動に安定性を加味した「連結配当性向50%」又は「株主資本配当率(DOE)2%」のいずれか高い方で実施する配当方針です。この方針に基づくと、2021年通期の配当は、一株当たり60円となりますが、業績悪化の原因が部品調達難というイレギュラー事象による事、また充実した自己資本の状況を鑑み、第1四半期決算時予想から減配せず、83円(中間32円、期末51円)とさせていただく予定です。さらに、株主還元の一環として、自己株式の機動的取得を検討し、自己株式は2023年までに発行済株式総数の5%程度を残して消却する計画です。

なお、当社は2022年4月4日より、東京証券取引所の新市場区分における「プライム市場」に移行いたします。今後も株主をはじめステークホルダーの皆さまのご期待に応えられるよう、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

将来財務ハイライト

Non-financial Highlight

製品使用によるCO₂排出量(グループ)



事業活動によるCO₂排出量(グループ)*1



フルオート給湯器に占めるプレミアム(除菌機能付)比率



有給休暇取得日数/取得率(単体)*2



総労働時間(単体)*2



中途採用者の管理職登用比率(単体)



女性管理職登用比率(単体)



障がい者雇用者数(グループ)*3,4,5



障がい者雇用率(グループ)*3,4,5



* 目標は法定雇用率以上を維持

* 目標は法定雇用率以上を維持

*1 2018年度より第三者検証の数値。2021年第三者保証検証中。
*2 単体従業員平均ベース。2021年は部品調達状況の影響による生産休業が発生。
*3 各年度6月末時点での集計値。
*4 雇用者数および雇用率は、重度障がい者を2人分、短時間勤務障がい者を0.5人分として人数カウント算出。
*5 法定雇用率は2018年~2.2%。

企業情報

会社概要 (2021年12月31日現在)

社名	株式会社 ノーリツ
設立	1951年3月
本社所在地	兵庫県神戸市中央区江戸町93番地(栄光ビル)
資本金	20,167百万円
代表者	代表取締役社長 腹巻 知
従業員数	2,190名(単体)、6,720名(連結)

役員体制 (2021年12月31日現在)

代表取締役会長	國井 総一郎
代表取締役社長	腹巻 知
取締役 兼 専務執行役員	廣澤 正峰
取締役 兼 専務執行役員	竹中 昌之
取締役 兼 常務執行役員	廣岡 一志
社外取締役	尾上 広和
取締役 常勤監査等委員	綾部 剛
社外取締役 監査等委員	正木 靖子
社外取締役 監査等委員	谷 保廣

*最新の体制はHPをご覧ください。
<https://www.noritz.co.jp/company/about/outline/executive.html>

ノーリツレポートについて

報告内容

掲載期間	2021年度(2021年1月1日~12月31日)
対象範囲	株式会社ノーリツおよび、国内外のグループ会社
参考ガイドライン等	IIRC 統合報告フレームワーク、SDGs、ISO26000、GRIスタンダード、SASBスタンダード、国連グローバル・コンパクト、経団連企業行動憲章、経産省価値協創ガイダンス

前回発行月 2021年3月

次回発行月 2023年3月予定

発行にあたって

ノーリツグループの価値創造につながる財務と将来財務の関わりを示した「NORITZ REPORT」は、2015年の初回発行から今回で8回目の発行となりました。ノーリツグループの価値創造についての考え方を、多くのステークホルダーのみなさまに知っていただくためのコミュニケーションツールと位置づけています。より詳細な内容につきましては弊社ホームページをご確認ください。

制作チーム一同

将来の見通しについて

本報告書に記載されている、ノーリツおよびノーリツグループの2022年3月31日時点の計画・戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の見通しでありリスクや不確定な要素を含んでいます。実際の業績などは、さまざまな要因によりこれら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

コミュニケーションツール

コーポレートサイト

<https://www.noritz.co.jp/>

ノーリツグループのコーポレートサイト。商品、サービス、企業情報、IR情報、CSR情報など幅広く掲載

スマートフォンからはこちら

サステナビリティ

<https://www.noritz.co.jp/company/csr>

ノーリツグループのサステナビリティの取り組みサイト。年次ピックアップやQ+ESGの詳細情報を掲載。

スマートフォンからはこちら

NORITZマイページ

https://mypage.noritz.co.jp/member_web/auth



無料会員サイト。お知らせやキャンペーン情報を提供

NORITZ DAYS

<https://days.noritz.co.jp/>



ノーリツ公式のオンラインショップおよびメディアサービス

SNS公式アカウント

フェイスブック インスタグラム



YouTube



毎日 Grill 部

<https://www.mainichigrillbu.com/>



Grill料理のレシピやコラム、イベントを紹介

おふる部

<https://ofurobu.com/>



おふる好きのライターたちによるキュレーションメディア